なないろ すてっぷ事業所自己評価シート　2025（令和 7）年度

職員による自己評価

A環境面
・子どもたち一人ひとりが楽しく安全に活動が出来るよう部屋を分けて活動している。

B児童への支援内容
・職員間でミーティングを重ね、子どもたち一人ひとりに合わせた支援が行えるよう、日々意見交換や情報共有を行っている。
・子どもたちが主体的に活動できるよう、時折子ども会議で活動を決める場を設けている。

C関係機関との連携
・学校への送迎時に、子どもたちの体調や様子を丁寧に共有し、安全に活動できる環境づくりにつなげている。

D保護者への説明責任・信頼関係
・連絡帳や送迎の際に、その日の活動や出来事の様子を共有している。

E非常対応
・避難訓練や内部研修を行い、日常の活動での安全確保につなげている。

保護者による評価

A環境面
・活動に集中できる、安心して過ごせるスペースが確保されている。

B児童への支援内容
・掃除や食器洗いなど、事業所で取り組んでいる身の回りのことを自宅でも行える場面が増えてきている。
・運動や工作、調理など、多様な活動に取り組んでいる。

C事業所からの情報発信
・送迎時や連絡帳を通して、その日にどのような取り組みを行ったかを確認することができている。
・Facebook や活動写真、毎月のお便り「なないろ通信」を通して、活動の様子を確認することができている。

D非常対応
・子どもたちが主体となり、地図を確認しながら避難経路を考えるなど、実践的な避難訓練に取り組んでいる

事業所内での分析

【共通点】
・活動に応じた部屋の使い分けにより、子どもたちが集中して活動に取り組める環境がつくられている。
・事業所で取り組んでいる掃除や食器洗いなどの身の回りのことが家でも出来るようになっている。
・多様な活動を通じて新しい体験や学びを得るとともに、自分の興味や関心を広げながら、日々の活動に積極的に取り組めるようになっている。
・保護者様と事業所で送迎時や連絡帳を用いて、情報の共有が出来ている。

【相違点】
・子ども同士で遊ぶ時のルールについて学べる機会があるといい。
・家族には話しづらいことについて話せる場であってほしい。

分析・検討してみて…

事業所の強み

・事業所での経験や取り組みを、日常生活の場でも活かせるようになっており、家庭での行動や習慣にもつながっている。

・子どもたちは、他者との関わりを楽しみながら、集団活動に積極的に参加し、取り組むことができている。

・活動ごとに部屋を使い分けることで、子どもたちが自分の興味や関心に合わせて活動に取り組みやすくなっている。

事業所の改善点

・子どもたちがより自立できるよう、活動や日常生活の中でルールを学ぶ機会を取り入れる。

・子どもたちが日常の悩みや困りごとを安心して相談できるよう、職員との信頼関係をより深めていくことを意識して支援していく。

事業所の改善への取り組み

・子どもたちがより自立して行動できるよう、活動や日常生活の中でルールを学ぶ機会をさらに意識的に取り入れていく。また、活動前後に振り返りの時間を設けるなど、体験を通してルールの理解や実践につなげられるよう取り組んでいく。

・活動や日常の関わりを通して、**子どもたちの話に丁寧に耳を傾け、困りごとや悩みに寄り添うことで、職員との信頼関係を深めることを意識して支援していく。**

～自己評価を行っての事業所としての感想など～

この度は評価表へのご協力、誠にありがとうございました。日常生活や活動の中でルールや手順を学ぶ機会を取り入れ、子どもたちがより自立して行動できるよう、支援していきます。また、困ったことや悩みを安心して相談できるよう、日々の関わりの中で丁寧に話を聞き、安心感を育む環境づくりに努めます。今後も、子どもたちにとって安心して学び・遊び・相談できる場所となるよう、継続的に取り組んでいきます。

事業所名　放課後等デイサービスなないろ すてっぷ
担 当 者　笠井　康平